

2月のアーティスト



横森 有津 ちゃん
大堤幼稚園 5歳



冬休みにみんなでスキー場に行って、ソリ滑りをしてきたの。スキーをしているのはお姉ちゃん。スキー場には雪がたくさんあったよ。

No.287

みんなの詩歌



熱帯夜うなりながら寝る父と祖父
後藤 空吏

思い出も雪もとけさる別れの日
大山 真成人

つららたち水滴たらし泣いている
菊池 優夏

向日葵が空に向かって羽ばたくの
長尾 あこ

南中学校三年

※掲載作品は日本現代詩歌文学館内に展示しています。

みんな

の広場

この人に聞く Spotlight

No.225

光る感性と飽くなき追求で着心地の良い一着を
館下 愛美 さん



国内外でまれと言われるニットの受注生産。このサービスを表現させている作業現場で、中心的な存在となっているのが、株式会社ユニティオー（本社・東京都）岩手工場の製造主任、館下愛美さん（38歳・常盤台）です。国内でできる職人が少ないりんキング（各パーツをつなぎ合わせる高度な作業）技術を持ち、技と感性を生かしてオーダーメイドのカシミアニット作りを統括しています。これまでの業績が評価され、令和5年度北上市青年卓越技能功労者、令和6年度岩手県青年卓越技能者として表彰を受けました。どちらも市内在住の女性では初の受賞です。

館下さんは幼少の頃、ピーズで指輪やブレスレットを作ることが好きでした。パズルやデッサンにも熱中し、「子どもの頃から細かい作業が好きで、それが今に生かされてきているのかな」と語ります。高校卒業後に市内のアパレルメーカーに就職し、ニット製造を経験したものの、会社が廃業に。就職活動のさなか、今の仕事に出会いました。「地元でりんキングを生かした仕事があったらいいな」という思いがきっかけで、当初3人の従業員で始まった工場は13人に増え、昨年には旧黒岩小学校の校舎へ移転しました。英国高級紳士服店などでも取り扱われ、販路も拡大。それでも館下さんはいつも通りに作業に向き合い、「高級店からの受注であっても、着る人にとって、どんな風合いが気に入るか、どうすれば着心地が良くなるかを考えるだけ」と自然体です。休日にはマルシェに出かけて、出店作家と交流するのが楽しみな館下さん。家では趣味のハンドメイドに5歳の息子が加わってくることも。どこまでもものづくりに浸っていたい、根っからの職人さんです。

おらほの愛どる



齋藤 乙歌 ちゃん
令和5年10月24日生まれ
(大堤西)

わが家に生まれてきてくれてありがとう。これからも元気にすくすく成長してね！



葛岡 聖司 くん
令和6年2月6日生まれ
(里分)

本当にわが家のアイドルのせいちゃん♡元気にすくすく育って行ってね！



小野 凜佳 ちゃん
令和5年11月22日生まれ
(里分)

りんちゃんが笑うと家族みんな笑顔になるよ。いつもすてきな笑顔をありがとう！

どんなクラス？

個性的な人がたくさんいて、面白くて楽しい(京泰)
勉強中は真剣で、休み時間にはぎやか(咲良)
いざという時に切り替えが早い(さくら、柚生)
優しい言葉を掛け合い、感謝の気持ちを伝える(暁飛、陽菜)
先生はちいかわが好きで、優しくてかわいい(和奏、友愛)

担任 高橋先生からのメッセージ

とても明るくて、素直で、笑いの絶えない4年2組のみんなが大好きです。三学期、残り少ないですが、たくさん一緒に遊んだり勉強したりしましょう。

2月のクラス 黒沢尻北小学校 4年2組

